

メモを作ってスピーチをしよう

スピーチメモの別例

メモをもとにしたスピーチ例

- 1 タピオカを食べたことはあるか
- 2 タピオカは古くない！
- 3 タピオカとミルクティーの相性
- 4 食感の説明 ぷるぷるもちもち

食感を最初に伝えることで、聞き手に「タピオカ」とはどのようなものなのかを想像させる工夫をしています。
また、最後にちょっとひねった一言をつけると、より聞き手の印象に残るスピーチになります。

例えば、お笑い芸人のトークを思い出してみよう。
聞き手の想像をふくらませるような臨場感のある話題から、最後の「オチ」で笑いを起こしているね。

話の**組み立て方**を工夫することで、聞き手の興味関心を引き出すことができるよ。

他にも、表情をつけたり、身振り手振りを大きくしたりと、伝え方の工夫にはたくさんあるね。

最近は動画サイトで雑談配信を行っている人や、1分程度で情報をまとめたコンテンツが人気だね。
話し方や展開の仕方に注目して見てみると参考になるかも！



手順 2 ① ② のメモと ③ の資料を使って、1分間スピーチをしよう。

① 用紙に書く資料
② 地図帳

③ 具体的な伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

④ 伝えること

⑤ 伝えること

⑥ 伝えること

⑦ 伝えること

⑧ 伝えること

⑨ 伝えること

⑩ 伝えること

⑪ 伝えること

⑫ 伝えること

⑬ 伝えること

⑭ 伝えること

⑮ 伝えること

⑯ 伝えること

⑰ 伝えること

⑱ 伝えること

⑲ 伝えること

⑳ 伝えること

㉑ 伝えること

㉒ 伝えること

㉓ 伝えること

㉔ 伝えること

㉕ 伝えること

㉖ 伝えること

㉗ 伝えること

㉘ 伝えること

㉙ 伝えること

㉚ 伝えること

㉛ 伝えること

㉜ 伝えること

㉝ 伝えること

㉞ 伝えること

㉟ 伝えること

㊱ 伝えること

㊲ 伝えること

㊳ 伝えること

㊴ 伝えること

㊵ 伝えること

㊶ 伝えること

㊷ 伝えること

㊸ 伝えること

㊹ 伝えること

㊺ 伝えること

㊻ 伝えること

㊼ 伝えること

㊽ 伝えること

㊾ 伝えること

㊿ 伝えること

メモを書くメリット

○ 伝えることを組み立てられる。
○ 伝えたいことを自分自身で整理できる。
○ 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
○ 話が脱線しなくなる。
○ わかりやすく伝えることができる。

話す順番の例

【開き】興味を引くこと
【内容】伝えたいこと
【まとめ】おすすめなど

メモはどんな順番で書くかは、基本はみんなの順番を参考にしよう。
話し方や展開の仕方に注目して見てみると参考になるかも！

ここで覚えてほしいこと

「ふ〜ん」と聞き流されるより「うんうん」と聞いてもらえるように話ができるといいよね。

- 必要な情報を分かりやすく、簡潔に！
- 具体例や擬音語などを用いて臨場感をもたせる！

この2つを意識しよう。

そして「話す」基本レッスン (p.5) で学習したポイントも参考にしよう。
面接やプレゼンなど、人前で話す機会はこれからどんどん増えていくよ。
今のうちに練習しておけば将来自信をもって挑むことができるから頑張ろう！

他のテーマ例

- ・休日 の 過ごし方
- ・テスト勉強 の 効率的なやり方
- ・小学生の頃 の 武勇伝
- ・地元のパン屋 の おすすめポイント